

所属	大学院理工学研究科	氏名	野尻 幸宏
課題名	北東北地域における農業・水産業の気候変動適応策の策定支援		

1. 概要

気候変動の影響は、農林水産業に大きく現れます。将来、予測される気候変動について、地域スケールに読み替え、自治体・現場の関係者の方策支援を行います。

データ整備 北東北地方で今世紀末までの間に予想される気候変動について、農業・水産業で基本となる気温・降水量・降雪量などを中心に、想定される複数の温暖化進行シナリオを考慮してデータを整備します。

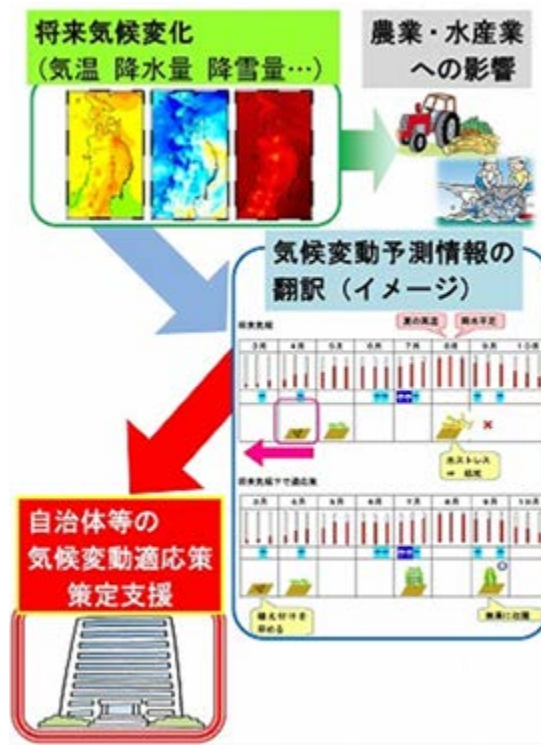
影響評価 北東北地方の将来の気候をもとに、農業・水産業に現れる可能性のある影響について解析を進めます。コンピュータで解析された結果の数値を翻訳して、現場の皆さんにも分かりやすく伝えられるように努めます。

適応策支援 将来の気候変動はある程度避けられないものとして、温暖化した世界の中でどのような農業・水産業を続けていくことが可能か、その方策（「適応策」）を検討することが求められています。将来の気候データや影響評価の結果をもとに、自治体や現場の関係者が、これらの対策を策定するための支援を行います。

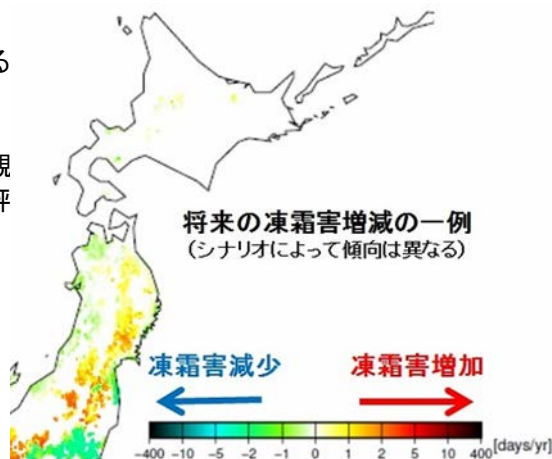
これまでに、リンゴの生育と凍霜害の将来気候のもとの関係の予測解析、リンゴの日焼けの頻度が将来増加する予測解析、を実施しました。これらは、環境省「地域適応コンソーシアム 北海道・東北地域事業」の分担業務でもあり、その成果は <http://www.adaptation-platform.nies.go.jp/lets/conso/adaptation/hokkaido-tohoku/index.html> にて、公開されています。

また、重要な農業用水源である河川水の岩石風化に関わるでの変化を考える研究を実施しています。

農林水産業と関係する課題のほか、北東北地域の重要な観下での積雪量変化を予測し、観光資源への気候変動の影響評



(1) 本課題の概要



(2) リンゴ栽培における将来気候下での凍霜害予測

2. 画像の説明

(1) 本課題の概要

(2) リンゴ栽培における将来気候下での凍霜害予測